

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成29年10月5日

①学校名:	ビジネス・ブレイクスルー大学	②所在地:	東京都千代田区六番町1-7 Ohmae@workビル (大学事務局)千代田区二番町3番地麹町スクエア2階		
③課程名:	経営学部履修証明プログラム(グローバルビジネス)	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2017/10/1
⑥責任者:	副学長(学部担当)・学部長 宇田左近	⑦定員	若干名	⑧期間:	6か月
⑨申請する課程の目的・概要:	海外に市場を展開する際に必要な、グローバルなビジネス手法を身に付ける				
⑩4テーマへの該当の有無	・女性活躍 ・非正規労働者のキャリアアップ	⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者		
⑫対象とする職業の種類:	企業・各種団体における、経営を含む管理職業務、マネジメント業務を中心とする、社会人一般				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) グローバルビジネス環境に関する知識 分析手法、論理的思考法、状況策定能力、最善策を提言する力		(得られる能力) 海外に市場を展開する際に必要なグローバルなビジネス手法		
⑭教育課程:	「国際経営」では、グローバルビジネス環境の基本的認識を共有し、国際戦略に適合する組織のデザイン、参入対象国の選定方法、参入後の評価方法などを学ぶ。「GMP Prep Course A」では、学習をすべて英語で行い、ケーススタディを通じて分析手法、論理的思考法、状況策定能力、最善策を提言する力を養い、これらを用いて英語でビジネスを行う際に必要な説得力を修めていく。「現代版ソクラテスの対話」では、大前研一学長による英語での即興対話を通じて、論理的思考力や状況判断力、問題解決力、コミュニケーション力を備えたグローバルビジネスリーダー像を理解し、各自が思い描くグローバルリーダー像の醸成を促す。 上記科目を通して、海外に市場を展開する際に必要なグローバルなビジネス手法を身に付けることができる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	270時間の学修を行い、各科目のオンラインディスカッションに参加する。更に「GMP Prep Course A」については課題およびプレゼンテーション、「現代版ソクラテスの対話」についてはレポート課題、「国際経営」については最終課題を課し、学修成果を総合的に判定する。その判定は⑳に記載する方法にて行う。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部履修証明プログラム「グローバルビジネス」修了認定証				
⑰総授業時数:	270 時間	⑱要件該当授業時数:	270時間	該当要件	⑲要件該当授業時数/総授業時数: 100%
⑳成績評価の方法:	本プログラムを構成する講義科目の成績は100点満点をもって評価し、60点以上を合格とする。この場合、次の区分によりA+、A、B、C、Fの評語をもって表し、A+、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。A+…100点～90点 A…89点～80点 B…79点～70点 C…69点～60点 F…59点以下				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条を踏まえ、公益財団法人日本高等教育評価機構の点検・評価項目に沿って自己点検・評価を行う。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	学士課程の講義科目を体系的に構成したものであるため、成績評価を学士課程における成績評価と同等の基準により行う。また、修了者に対し、次の2つを実施し、その結果より効果検証を行う。 1.「卒業後の進路・担当業務」に関するアンケート 2.「課程を修了することによって得られた能力」に関する自己評価				

<p>⑳企業等の意見を取り入れる仕組み:</p>	<p>(教育課程の編成) 企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を年2回実施し、同会議の中で本学の教育課程の編成等に関して意見・評価・提言を行う。 また、外部の企業経営者等の有識者を複数名招き、本学教職員も参加する「コンテンツ会議」を隔月で開催し、外部人材からは現在の実業界の課題やトレンド、人材育成の傾向などに関して本学に対して提言がなされている。また今後は年に2回程度、コンテンツ会議内で本学の教育課程そのものについて直接的に提言がなされる。 「第三者評価会議」並びに「コンテンツ会議」で討議・提案された内容は、教授会をはじめとした関係機関において教育課程の編成に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて教育課程に反映される。 (自己点検・評価) 企業経営者で構成される複数の外部メンバーが参加する「第三者評価会議」を年2回実施し、同会議の中で本学の自己点検評価に関して意見・評価・提言を行う。 「第三者評価会議」で討議・提案された内容は、自己点検評価委員会、大学協議会、教授会をはじめとした関係機関において、自己点検評価に関する事案が審議・決定されるプロセスにおいて、重要な参考情報として活用され、必要に応じて自己点検評価活動・体制に反映される。</p>
<p>㉑社会人が受講しやすい工夫:</p>	<p>24時間365日オープンなオンラインキャンパス。スマートフォン等でも講義の受講が可能のため、通勤や移動中の隙間時間を使って忙しい社会人でも履修ができる。</p>
<p>㉒ホームページ:</p>	<p>(URL) http://www.school.ohmae.ac.jp/ (経営学部マーケティングページ) http://bbs.ac/</p>

<p>事務担当者名:</p>	<p>沼尻 恵理</p>	<p>所属部署:</p>	<p>大学事務局</p>
<p>連絡先:</p>	<p>(電話番号) (E-mail)</p>	<p>03-5860-5531 academic@ohmae.ac.jp</p>	

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。